



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和6年度 第10号
2024. 10. 11

実りの秋。何をするにもいい季節になりました。

<季節が進みました> 早いもので、誠樹祭が終わって2週間が経ちます。誠樹祭の取組期間はあんなに暑かった気候もようやく落ち着き、朝夕はだいぶ涼しくなりました。生徒の皆さんの登校風景にもポロシャツや夏のセーラー服に混じって、カーディガンや冬のセーラー服、学ラン、ブレザー姿も見られるようになり、季節が進み、本格的な秋の訪れを感じます。(余談になりますが、暑さで夏ばて気味だった我が家の三匹の猫も目に見えて食欲が旺盛になり、スーパーへえさを買いに行く回数が増えました)

<実りの秋> 昔からこの季節は「実りの秋」と呼ばれ、稲をはじめ、多くの食物が実をつける時期になります。このことから、日頃の努力が実を結び、成果となって表れることのとえとして使われます。まさに、誠樹祭の皆さんの姿は、4月からの一人一人の成長が結実したものであり、実りの秋にふさわしいものだったと思います。また、この時期は過ごしやすい気候であることから、たくさんの学校行事が予定され、また、既に実施されています。そのいくつかを紹介していきます。

○ 人権講話(10/1) 2年生が保護司さんから話を聞きました。

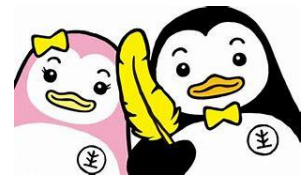
10/1(火) 5校時に人権講話を開催しました。これは毎年双葉地区保護司会の皆さんが中学2年生を対象に行っているもので、当日は10名ほどの保護司の方が本校を訪れ、保護司という仕事のこと、罪を犯してしまった人の更正、中学生に伝えたいこと等についてお話を伺いました。以下に、感想を紹介します。

☆日常ではあまり気にとめない犯罪のニュースですが、今回の話を聞いて意外と自分の身近にあることだと思いました。また、犯罪者だからと決めつけることなく、ボランティア活動を行っている人がいるということを知りました。自分は犯罪をしていないし、関係ないではなく、立ち直ろうとした人を受け入れていくことも大切なことだと思った。改めて、自分は家族や知人、地域の人の愛されていることを実感し、その人たちを悲しませないように正しい道に進もうと思った。

☆人生の結果は考え方が大切だと分かった。今まで良い結果ばかりを追い求めていたけれど、結果が出る前の考え方、結果が出てからの考え方が自分にとって一番大切なことなんだと考え方が変わりました。自分の考え方を行動に移すこと、その行動を継続し、習慣に変えること、一つ一つの行動を継続することは大変だし、結果が出るまで時間がかかるけれど、あきらめずにコツコツと努力をし続けていきたい。

☆今日の人権講話では、自分も含めた色々な人のそれぞれの個性を受け入れて大切にすることや悩んでいることなどがあつたら周りの人などに相談してみることが大切だということを感じました。今後はこれらのことを意識して生活をしていきたいです。

☆保護司というのは元々知っていましたが、ボランティア活動だと知り、保護司の方々の地域社会に対する思いが伝わってきました。犯罪とはやってはならないことであり、今までの生活を壊すものであるため、改めて犯罪の恐ろしさを実感することができた。そして、当たり前で過ごしているこの時間、場所が決って当たり前ではないことを忘れず、日々感謝しながら生きていこうと思いました。



保護司キャラクターの
サラちゃんとホゴちゃん

○ 第1回教育課程到達度検査(10/1) 3年生が受検しました。

10/1(火) 3年生が第1回教育課程到達度検査を受けました。この検査は高校進学を考えている3年生にとっては進路選択・決定の重要な資料となるものです。3年生にとっては、誠樹祭が終わって間もない実施であったので取組も大変だったことと思います。既に結果が出ていることと思いますが、大切なことは今回の結果を第2回(11/7予定)につなげていくことです。

各教科のどの部分につまずきがあったかを分析し、同じような問題が出た時には答えられるようにして

おくことです。次回まで十分な時間がなく全てはやり切れないという人もいます。そういう人は、自分の希望する高校に照らして、ポイントを絞って学習していただくことも大切です。

3年生の皆さん、勉強以外にもいろいろやりたいことはあると思いますが、この時期は、「まずは勉強最優先」で取り組んでいきましょう。「自分の道は自分で切り開く」という強い意志をもち、粘り強くコツコツです。結果がどうなるかは当然気になると思いますが、結果を心配していても始まりません。「今できることに精一杯取り組む。結果は出てから考える」とシンプルに考え、目の前の勉強に集中しましょう。



○ 新人大大会が始まっています。壮行会(10/4)も行われました。



先週の土日(10/5・6)から、新人大大会が部ごとの日程で行われています。1,2年生にとって新チームになって初めての公式大会となります。新人らしく、失敗を恐れず果敢にチャレンジして欲しいと思います。

それに先立ち、本校では10/4(金)の放課後、体育館で壮行会が行われました。どの部の生徒も緊張した面持ちで入場し、新人戦にかける思いや意気込み、目標を発表しました。その後、応援団と全校生徒による、エールと校歌の披露がありました。太鼓の音が鳴り響く中、生徒の気持ちのこもった応援により、各選手の士気が高まりました。これも、本校の伝統として、引き継いでいってほしいと感じました。

これまでに、男女バスケ部、男女ソフトテニス部(個人戦)、女子バレー部、野球部は新人大大会が終わっています。男子バスケ部、女子バスケ部、男子ソフトテニス部(個人戦で2ペア)が県大会出場を決めました。県大会での健闘を祈っています。



○ 職業講話(10/8)を行いました。2年生が働くことについて考えを深めました。

今週の火曜日(10/8)の総合的な学習の時間に2年生が職業講話を行いました。これは、1か月後に職場体験学習を控えた2年生が働くことや仕事について学ぶ機会としてキャリア教育に位置づけ、毎年この時期に実施しているものです。

今回は、本校に学力向上支援スタッフとして勤務している西山秀明先生を講師としてお招きしました。西山先生は退職されるまで電機会社で仕事をされ、海外勤務経験も豊富で、その経験から感じたことや学んだことを「私の職業と異文化体験」と題して、お話をしてくださいました。私自身とても興味があったのですが当日は別の会議と重なり参加することができませんでした。

生徒の感想からは、たくさんのお話を聞いて感じたことが伝わってくるものが多く、とても良いお話であったことが想像できました。いくつかを紹介します。



☆私はすぐに「無理」という言葉を簡単に口に出してしまいます。今日の話聞いてすぐにあきらめるような言葉を口に出さないようにしようと思いました。そして、あきらめず、めげずに色々なことに取り組んでいきたいです。将来のためにも今の英語の授業をよく聞いたり今まで習った文法などをよく覚えておこうと思います。今の自分がどれだけ頑張るか将来の自分の人生が大きく変化していくからテストも頑張ります!! また私は、「西山先生の人生はとても素敵だな」と感じました。西山先生は色々なことに挑戦していて、挑戦をあまりしない私にとっては「すごくてしょうがない」です。また、私は人見知りです。人と話すのがとても苦手です。でも西山先生のストーリーを聞き、人に話しかける勇気をもらえた気がしました。西山先生の話はとても為になりました。勇気が出なかつたら西山先生のことを思い出そうと思います。

☆西山先生の話聞いて思ったのは、まず、自分が将来何をやりたいか、職業として何をやりたいかを考えるときに、ずば抜けてすごい何かを見つけなくてもいいということです。「自分がこれを行っている時に心が落ち着くとか、これをやっている時は楽しいというだけでもいい」というのを聞いて、私は音楽が好きなので、将来は音楽に携わるようなことをしたいです。また、全般を通して思ったことは、「協力」と「勉強」の大事さです。「協力」とはその目標を会社としてどうやったら達成できるのか、どのように協力していけばいいのかを常に考えて行動することが大切だと思いました。そして、社会に出ても「勉強」が大切だということを知りました。これからは社会に出る前にたくさん勉強して自分がなりたい職業に就けるように精一杯努力していきたいです。